

企業版

ふるさと納税

社会課題や地域課題を解決するため、民間企業が持つノウハウの活用やスピード感のある実行力が欠かせません。須坂市が行うプロジェクトに対し、企業版ふるさと納税によるご賛同やご提案をお待ちしております。

【 須坂市が進める5つの柱 】

- ①安心して働き、暮らせる生活環境をつくる事業
- ②付加価値の高いしごとをつくる事業
- ③新しい人の流れをつくる事業
- ④新しい技術を活用できるまちをつくる事業
- ⑤地域の枠を超えた連携をつくる事業

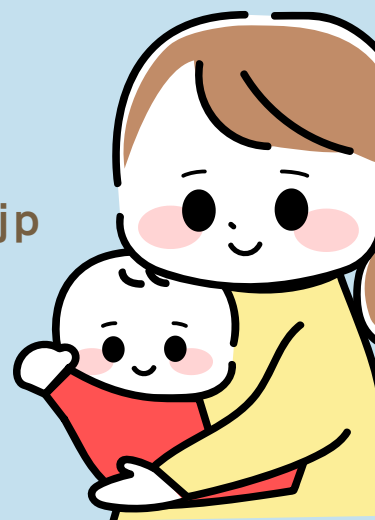
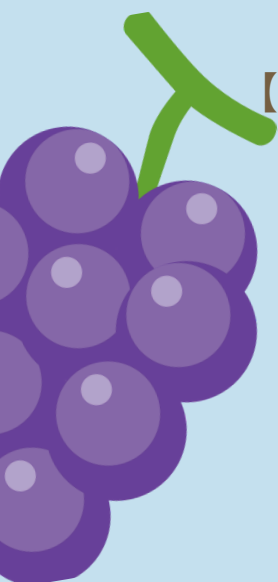
※①～③の詳細なプロジェクトは次のページ以降に記載

【問い合わせ】

須坂市政策推進課ふるさと納税推進係

☎ 026-213-6131

✉ furusato@city.suzaka.nagano.jp



①安心して働き、暮らせる生活環境をつくる事業

1 子育てのしやすい環境づくり

・ 出産や子育ての希望を叶えるため、不妊・不育治療費助成や妊婦支援、妊産婦や乳児の健康診査への補助を行っています。

・ 保健師が乳児家庭を訪問し相談に応じるなど、子育てのしやすい環境を作っています。



保健師が相談に乗ります

学校に設置する防犯カメラや楽器の物納も募集しています。

2 地域モビリティマネジメント推進 プロジェクト

・ 高校生の通学手段、高齢者の移動手段としての公共交通の維持が難しくなっています。そこで、モビリティマネジメントの推進（免許返納者へのICカード贈呈、交通系ICカードによる利便性向上など）により、減少する利用者に歯止めをかけます。

・ 市民の足となる「すざか市民バス」確保のための運営費補助や交通事業者への支援（人材確保など）を実施していきます。

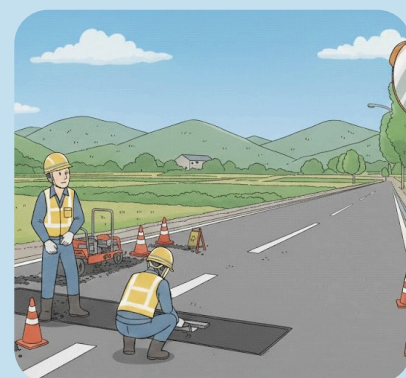


公共交通の確保を行います

3 市道環境整備、交通事故防止プロジェクト

・ 施設の長寿命化を図るため、適切な維持管理、修繕が必要です。特に通学路は交通事故防止のため、カーブミラーの点検、除草などが欠かせません。

・ 舗装が必要な道路が年々増えており、人や物の輸送を円滑に、快適に行うために、定期的に舗装していく必要があります。



市道の点検・補修を実施

4 子どもの居場所づくりプロジェクト

- ・教育格差や貧困、不登校の問題に取り組めます。また、言語の壁や孤立に悩む外国籍の子どもへの支援を行います。具体的には、子ども食堂の運営やフリースクール利用料の補助、高校生の居場所づくり運営のための補助、外国人生徒向け日本語教室のための整備などを実施します。
- ・利用者増に伴い井上地域児童クラブの増築を行います。



子ども食堂の支援を実施

5 野生動物からの被害防止、共生推進プロジェクト

- ・山間部の人口減少などにより野生鳥獣による被害が増加しています。特に、クマは全国的にも出没が急増しており、人身被害の懸念もあるため、対策を強化していきます。
- ・具体的には、電気柵の野生鳥獣の侵入を防ぎ、猟友会の人員確保と待遇向上のため、鳥獣駆除賞賜金の拡充を行います。



猟友会の活動を支援

②付加価値の高いしごとをつくる事業

1 新規就農者確保&ブドウ栽培拡大

- ・市内外に農業の魅力をもっとPRするとともに、補助金などにより、農業のしやすい環境を整備し、新規就農者を増やすことを目指します。
- ・栽培を希望する就農者が多く、市の特産品でもあるシャインマスカット、ナガノパープルなどのブドウ栽培を拡大するため、棚の整備に関する補助を行います。



就農相談会でのプレゼンの様子

2 DX推進 & 若者による企業の魅力PR

- ・業務効率化や働きやすい職場づくりのため、DXに関するセミナーの開催や専門家による企業のDX推進のための伴走支援を実施します。
- ・セミナーを行い、デジタル人材の育成や若い方の職業観醸成を図ります。
- ・高校生や大学生と連携し、企業の魅力や須坂の産業をPRします。



地元高校生が企業のPR動画作成

3 須坂市発祥のワッサーのブランド化

- ・須坂市発祥のワッサー（桃×ネクタリン）のブランド化を行い、農家の所得向上、須坂市の知名度向上をはかります。
- ・令和元年東日本台風の復興を目指し、若手農家がワッサー栽培拡大中です。
- ・ワッサーは、桃の甘さとネクタリンの酸味が合わさってバランスが良く、暑い夏にもピッタリな爽やかな味わいです。



ワッサーの販促物

③新しい人の流れをつくる事業

1 空き家活用 & 移住促進プロジェクト

- ・空き家の有効活用を目指し、空き家バンクの運営や実態調査を行っています。
- ・移住体験ハウスの運営や首都圏などでPRして、移住促進を行います。
- ・大学生のフィールドワークの場として空き家を借り、改装に挑戦中です。また、大学生が須坂の文化や建物について研究し、須坂の魅力を発信し、移住定住に繋げていきます。



空き家を移住者に紹介

2 『”重伝建”で須坂の魅力発信』プロジェクト

- ・ 国に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。価値の高い「重伝建」地区を文化財として保存し、後世に残していくための修理事業費の補助を行います。
- ・ 建物の保存だけでなく、須坂の歴史や町の成り立ちなどのストーリーとともに発信をしながら、地域活性化や観光振興に繋がっていきます。



重伝建地区に選定された蔵の町並み

3 須坂カッタカタまつり

- ・ 須坂カッタカタまつりは、毎年7月下旬に開催し、多くの市民が参加しています。踊りを介して地域交流が生まれ、子どもたちの思い出づくりの場となっています。
- ・ 近年、物価高に加え、財政状況が厳しさが増す中ですが、まつりを継続、発展させ、まちの賑わいを作り出します。



市民参加型のカッタカタ祭り

4 須坂市動物園応援

- ・ 動物とのふれあいを通じ、市民の憩いの場として親しまれています。動物の行動や生態を紹介し理解を深めていただくことに力をいれています。例えば、絶滅危惧種のイヌワシの飼育や住宅地に出没して問題となっているクマの生態を伝えるトークイベントを行い、自然の大切さを伝え、動物との共存を目指しています。
- ・ SNSの情報発信に努め、動物の写真は好評で、公式Xはフォロワーが68,000人を超えました。
- ・ ご寄附は、動物の飼料(エサ)、健康管理の薬剤、獣舎の修繕、グッズ制作やイベント運営などに使わせていただきます。



大人気のカピバラ温泉

物納で動物のエサ、遊具のバッテリーカー、獣舎のスポットクーラーも募集しています

【企業版ふるさと納税の仕組み】

国が認定した地域再生計画に対し、企業が寄附を行った場合に最大で寄附額の約9割が控除されます。

- 本社所在地以外への寄附であること
- 10万円以上の寄附が対象

【控除の計算方法】

| | | |
|--------------|--------------------|---------------|
| 損金算入 約30% | 税額控除 最大60% | 自己負担 最小10% |
| | 法人住民税・法人税 最大40% | |

①法人住民税：寄附額の40%を税額控除（法人住民税法人税割額の20%を上限）

②法人税：法人住民税で40%に達しない場合はその残額を控除。

ただし、寄附額の10%を限度とし、法人税額の5%を上限とする。

③法人事業税：寄附額の20%を税額控除（法人事業税額の20%を上限）

注意…自己負担が10%を超える場合があります。資本金、所得、所在地などによって税率が異なりますので税理士や税務署などへご相談ください。

【須坂市が企業に提供するベネフィット（お礼）】

| 寄附額 | お礼の内容 |
|-----------|---|
| 10万円以上 | <ul style="list-style-type: none">感謝状の贈呈 |
| 50万円以上 | <ul style="list-style-type: none">感謝状の贈呈（贈呈式の開催）市長との懇談 |
| 100万円以上 | <ul style="list-style-type: none">市長表彰（受賞候補者への推薦）報道発表市長との懇談 |
| 1,000万円以上 | <ul style="list-style-type: none">市長表彰（受賞候補者への推薦）報道発表市長との懇談紺綬褒章へ推薦 |

S N S 等での広報



市HP



ふるさと納税
公式note



市長との懇談
(50万円～)

※上記に加え、ホームページへの掲載やS N S（note、Facebook等）へ記載します。

※担当職員との意見交換、事業の視察も可能です。ご相談ください。

※ベネフィットはご希望される企業に対し実施するものであり、必須ではありません。